

# 平山南国市長と市政を語る会を開催



## 岩村地区の現状・課題を提案 解決策をいただきました

特にふれあいセンター隣接地・公園案は  
早急に実現か！

平山市長が就任して初の岩村地区「市長と市政を語る会」が、令和2年2月8日(土)に岩村ふれあいセンターで開催されました。

日ごろ、市長が地域の皆さんから直接話を伺う機会は限られており、この機会に地域の課題や思いを市長に直接伺おうと、各部落から30名あまりの方々が夕刻の忙しい中、参加してくれました。

当日参加できなかった方々のために、出てきた意見・要望等で岩村全般に関わりそうな案件と市側からの回答の一部を紹介させていただきます。

### 市道及び市道側溝の整備

Q・岩村地区は地区内市道が大変狭く、消防車等の大型車の侵入に支障が出ており、かねてから要望しているが中々実現しない

A・各地区からの要望が多く要望に応えられていないが、再度地区の代表

者と話をさせてもらい、検討していきたい。

### 高堰からの水路の整備

Q・本水路は岩村地区の重要水路の一つであり、未だにコンクリート水路ではなく維持管理に労力を必要としているので、早急な対応をお願いしたい。

A・市単独土地改良事業において、地元から25%の分担金を出してもらい整備するメニューがある。他にも国・県の補助事業もあるもので、具体的な相談を願う。

### 岩村ふれあいセンターの機能拡充・用地拡張

Q・岩村ふれあいセンターは地域の交流には欠かせないものとなっているが、かねてからの約束となつている用地拡張を早急に実現してほしい。

A・「岩村保育所廃止に係る覚書」に基づき整備することとしており、平成25年にもらった岩村ふれあいセンターの隣接地に公園を整備するということがあれば、地権者との話し合いもしながら整備に向けて準備して

いきたい。

### 待機児童(0歳児保育の受け入れ)の解消

Q・産休明けに保育受入れ先を探したが、受入れ困難で産休を延長して対応せざるを得ない状況だ。4月受入れ以外はほぼ難しいとのこと。待機児童解消を願う。

A・現状、年度途中の0歳児の受け入れが困難となっており、定員枠の拡大は検討すべき課題だ。今後、保育施設・保育士の確保状況を考えながら、継続して受入れ枠拡大が可能なかの検討を進めていく。

以上の内容でした。

市長とは、ふれあい祭り、敬老会等でお話できた方もいますが、地域の課題や思いを具体的に伝えることは難しく、今回の「市長と市政を語る会」は大変有意義な時間だったと思っています。

(寄稿者 田所秀二公民館長)